2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上 場 会 社 名	ヒラキ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3059	URL	https://company.hiraki.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役	（氏名）	梅木　孝雄
問合せ先責任者	（役職名）取締役現業支援本部長	（氏名）	高下　幸弘　（TEL）(078)967-4601
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,866	△4.2	△97	―	△85	―	△231	―
2026年３月期中間期	6,123	△6.5	△50	―	△46	―	△61	―

(注) 包括利益　2027年３月期中間期 △200百万円（　―%）　2026年３月期中間期 △39百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△47.56	―
2026年３月期中間期	△12.57	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	14,931	5,751	38.5
2026年３月期	14,422	6,001	41.6

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　5,751百万円　2026年３月期　6,001百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	10.00	―	10.00	20.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	3.4	10	―	1	―	△160	―	△32.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　―　社（社名）　、除外　―　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,155,600株	2026年３月期	5,155,600株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	288,193株	2026年３月期	288,193株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,867,407株	2026年３月期中間期	4,867,407株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第２四半期（中間期）決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移しました。一方、食料品をはじめとする生活必需品の価格上昇が続き、家計の節約志向は根強く個人消費マインドに弱さがみられるなど、小売業を巡る環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、上場20周年を迎える当期の基本戦略を「ローコスト経営の徹底」および「未来への土台づくり」とし、通販・店舗・卸の各事業が三位一体となって、さらなる開発体制の強化、顧客満足度の高い商品の提供、業務効率の向上に取り組んでまいりました。

オリジナル商品では、８月に快適性を追求したスニーカー「ＮＥＸＥＬＬＡ（ネクセラ）」シリーズを発売するとともに、手頃な価格帯の商品ラインナップの拡充にも努め、９月には販売促進商品としては初のインフルエンサーとのコラボ商品「ファミリーモックシューズ」を発売いたしました。

以上、商品開発における新たな方向性の打ち出しを進めた結果、連結売上高は第１四半期の前年同期比7.1％減に対し、第２四半期は同0.6％減と回復の兆しが見え、当中間連結会計期間における連結売上高は58億66百万円（前年同期比4.2％減）となりました。利益面は、営業損失は97百万円（前年同期は営業損失50百万円）、経常損失は85百万円（前年同期は経常損失46百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は、特別損失（減損損失）１億38百万円を計上したことなどにより、２億31百万円（前年同期は中間純損失61百万円）となりました。

当社グループの報告セグメントの当中間連結会計期間における業績は、次のとおりであります。

①　通信販売事業

通信販売事業におきましては、自社ＥＣサイトにて新商品や季節品の情報を随時更新するとともに、『立ったまま履ける「ＳＰ－ＯＮ」』や新学期に向けたスクール用品のまとめ買い割引を実施し、購買意欲の喚起に努めました。また、ＷＥＢ広告や社内制作動画のＳＮＳ配信など情報発信を強化し、自社ＥＣサイトへの集客に注力しました。これらの取り組みにより、第２四半期の売上高は前年同期比1.2％減と、第１四半期の同10.9％減から減収幅が縮小しましたが、中間期の売上高は24億12百万円（前年同期比7.0％減）となりました。利益面は、広告宣伝費等の効率化に努めたものの、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント利益36百万円）となりました。

②　店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、全店で上場20周年記念商品の販売を推し進めるとともに、岩岡本店では大規模な青果市や、お子様向けウォーターイベントなど、新たな集客施策を実施いたしました。靴専門店の売上は好調に推移した一方、総合店では天候不順により夏物商品の販売が伸び悩み、食品も近隣競合店の影響を受けました。この結果、売上高は33億72百万円（前年同期比2.1％減）となりました。利益面は、オリジナル商品の売上構成比の高まりにより売上総利益率は改善しましたが、減収の影響を補いきれず、セグメント利益は１億５百万円（前年同期比19.6％減）となりました。

③　卸販売事業

卸販売事業におきましては、既存取引先への提案強化と新規取引先の開拓に取り組みました。主力取引先の一部に対しては、通常商品に加え、特価品販売により売上を伸ばしたものの、その他の取引先向けの販売が伸び悩み、売上高は81百万円（前年同期比2.4％減）となりました。利益面は、売上総利益率の改善に加え、一括納品等による販管費の削減により、セグメント利益は５百万円（前年同期はセグメント損失０百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

①　資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ４億78百万円増加し、103億64百万円となりました。これは、現金及び預金が４億77百万円、商品が２億９百万円増加し、売掛金が１億23百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、45億67百万円となりました。これは、投資その他の資産が76百万円増加し、有形固定資産が36百万円、無形固定資産が８百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ５億９百万円増加し、149億31百万円となりました。

②　負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、34億48百万円となりました。これは、１年内返済予定の長期借入金が１億19百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ７億円増加し、57億31百万円となりました。これは、長期借入金が６億37百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ７億59百万円増加し、91億80百万円となりました。

③　純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ２億49百万円減少し、57億51百万円となりました。これは、利益剰余金が２億80百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント低下し、38.5％となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ22億22百万円減少し、23億94百万円となりました。

当中間連結会計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、１億84百万円（前年同期は３億38百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失２億23百万円、棚卸資産の増加額１億88百万円、減損損失１億38百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27億26百万円（前年同期比80.2％増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出33億円、定期預金の払戻による収入６億円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、６億86百万円（前年同期比19.0％減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入18億円、長期借入金の返済による支出10億43百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想に関しましては、本日別途開示の「特別損失（減損損失）の計上、第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,016,320	6,494,127
売掛金	680,116	556,822
商品	2,991,813	3,201,716
未着商品	84,450	62,964
貯蔵品	10,566	11,138
その他	107,178	43,307
貸倒引当金	△4,609	△5,737
流動資産合計	9,885,835	10,364,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,476,911	1,398,228
土地	2,589,106	2,589,106
その他（純額）	175,272	217,040
有形固定資産合計	4,241,289	4,204,375
無形固定資産	33,448	24,872
投資その他の資産	261,464	338,122
固定資産合計	4,536,202	4,567,371
資産合計	14,422,037	14,931,708
負債の部		
流動負債		
買掛金	702,985	619,393
1年内返済予定の長期借入金	1,855,133	1,974,288
未払法人税等	7,741	17,467
賞与引当金	100,718	105,062
役員賞与引当金	－	2,500
契約負債	11,962	12,029
その他	711,254	717,385
流動負債合計	3,389,794	3,448,126
固定負債		
長期借入金	4,630,718	5,267,938
退職給付に係る負債	203,685	207,601
資産除去債務	63,475	62,357
その他	133,262	194,011
固定負債合計	5,031,142	5,731,909
負債合計	8,420,936	9,180,035

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,441,243	4,161,074
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	5,886,051	5,605,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,838	139,461
繰延ヘッジ損益	23,173	1,638
為替換算調整勘定	8,037	4,691
その他の包括利益累計額合計	115,049	145,790
純資産合計	6,001,101	5,751,673
負債純資産合計	14,422,037	14,931,708

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,123,359	5,866,579
売上原価	3,448,595	3,314,088
売上総利益	2,674,764	2,552,491
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	621,372	555,969
貸倒引当金繰入額	1,010	3,141
給料手当及び賞与	845,813	838,653
賞与引当金繰入額	107,778	105,062
その他	1,148,966	1,147,300
販売費及び一般管理費合計	2,724,939	2,650,127
営業損失（△）	△50,175	△97,635
営業外収益		
受取利息	10,973	17,045
受取配当金	1,682	1,961
為替差益	－	14,505
受取補償金	6,929	6,089
その他	9,551	6,749
営業外収益合計	29,137	46,352
営業外費用		
支払利息	22,309	33,847
為替差損	3,061	－
その他	13	437
営業外費用合計	25,383	34,285
経常損失（△）	△46,421	△85,569
特別損失		
減損損失	－	138,288
特別損失合計	－	138,288
税金等調整前中間純損失（△）	△46,421	△223,857
法人税、住民税及び事業税	9,399	7,637
法人税等調整額	5,364	－
法人税等合計	14,764	7,637
中間純損失（△）	△61,185	△231,494
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△61,185	△231,494

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純損失（△）	△61,185	△231,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,908	55,622
繰延ヘッジ損益	7,848	△21,535
為替換算調整勘定	2,399	△3,346
その他の包括利益合計	22,156	30,741
中間包括利益	△39,029	△200,753
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△39,029	△200,753
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△46,421	△223,857
減価償却費	139,542	134,899
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,489	1,128
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,643	4,344
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	2,500	2,500
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2,587	3,915
受取利息及び受取配当金	△12,656	△19,007
支払利息	22,309	33,847
為替差損益（△は益）	89	△171
減損損失	－	138,288
売上債権の増減額（△は増加）	271,046	123,584
棚卸資産の増減額（△は増加）	69,019	△188,988
仕入債務の増減額（△は減少）	△77,085	△84,166
契約負債の増減額（△は減少）	△1,495	67
その他	△9,260	△92,026
小計	364,329	△165,641
利息及び配当金の受取額	13,399	18,443
利息の支払額	△23,993	△36,218
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△15,632	△1,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,102	△184,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,700,000	△3,300,000
定期預金の払戻による収入	2,200,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△11,013	△26,028
投資有価証券の取得による支出	△300	△302
その他	△1,228	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,512,542	△2,726,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,077,053	△1,043,625
配当金の支払額	△48,665	△48,257
その他	△26,095	△21,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	848,185	686,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,479	2,130
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△327,734	△2,222,193
現金及び現金同等物の期首残高	2,680,986	4,616,320
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,353,251	2,394,127

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,595,707	3,444,469	83,182	6,123,359	―	6,123,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	2,595,707	3,444,469	83,182	6,123,359	―	6,123,359
セグメント利益又は損失(△)	36,782	131,205	△92	167,895	△218,071	△50,175

（注）１　セグメント利益又は損失(△)の調整額△218,071千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３　店舗販売事業の売上高は、受取家賃18,223千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,412,821	3,372,586	81,170	5,866,579	―	5,866,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	2,412,821	3,372,586	81,170	5,866,579	―	5,866,579
セグメント利益又は損失(△)	△10,656	105,519	5,758	100,622	△198,258	△97,635

（注）１　セグメント利益又は損失(△)の調整額△198,258千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３　店舗販売事業の売上高は、受取家賃16,921千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当中間連結会計期間において、通信販売事業で138,288千円の減損損失を計上しております。